



令和2年が明けました。本年もどうぞ、よろしくお祈りします。

令和2年（2020年）が、やってきました。本年度（令和元年度）も、残り3ヶ月となりました。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、と言われるように、あっという間に3ヶ月は過ぎていきます。一日一日を子どもたちの成長のための大切な機会として、全職員で授業や行事などの教育活動に全力で取り組んで参ります。

子どもたちの成長のために、本年もご支援ご協力をお願いします。

後期後半を開始する全校集会を行いました。



1月8日（水）朝に、後期後半の開始の全校集会を行いました。「1年の計は、元旦にあり。」

令和2年（2020年）の1年間を見通して、各自の目標に対して、計画を立てることの大切さを確認しました。本年3月には、各学年の修了を迎え、4月からは、進級です。学年は上がり、6年生は卒業を迎え、4月から中学生です。

各自が立てた目標に対して、目標達成のためには、日頃の努力が大切になります。日頃の努力を支えるため、「夜、寝る時刻」「朝、起きる時刻」「家庭学習する時刻」の3つを自分で決めて、守っていきましょうと、昨年からお祈りしてきました。

「夜、寝る時刻」を決めて守っている人と尋ねたら、42名中、23名。「朝、起きる時刻」を決めて守っている人を尋ねたら、42名中16名。「家庭学習する時刻」を決めている人を尋ねたら、42名中10名の手が挙がりました。

是非、ご家庭でも、この3つの時刻について話し合われて、子どもたちが自分で守っていけるような環境整備をお願いします。



東校区どんどやが行われました。



1月12日(日)10時から行われました。

東校区協議会や区長の皆様をはじめ、前日からの準備や当日早朝からの準備など、大変お世話になりました。

内村地域コーディネーター様を中心に、当日は、消防団の皆様もたくさん来ていただきました。PTA執行部の皆様には、お茶の準備等ありがとうございました。



各挨拶のあと、点火。子どもたちも代表が区長様たちと一緒に点火しました。あっという間に、火は燃え上がり、すごい燃え方に歓声も。今回は、風の影響も少なく、火の燃え方も上へ



上へと急激に燃え上がりました。

古くは、鎌倉時代から続くと言われる伝統行事です。各地域によって呼び方には違いがあるものの、正月のあとの無病息災を願い、行われてきているものです。日本伝統を身近に感じることでできるひとときでした。当日は、西原村で働くベトナムの方々も参加され、日本文化に感動されていました。

子どもたちは、その後、体育館でカルタ取り。体育館に広げられた大きなカルタを探しました。ここでも、日本の伝統行事を体験。

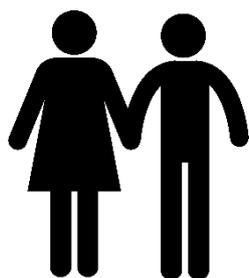


カルタの語源は、ポルトガルですが、日本でも、平安時代からカルタ取りの起源があり、その後、「いろはかるた」や「郷土かるた」に発展したといわれています。



性的指向・性自認に関する人権が、今、注目を浴びています。LGBTという言葉で、最近、報道でも目にする機会が増えました。私たちの「性」は、からだの見ただけで決められるものでなく、もっと複雑です。

人権学習コーナー



性の多様性を知る4つの要素があります。
からだの性(生物学的性)～医師により出生時に決められる性
こころの性(性自認)～自分の性をどう思っているかということ
好きになる性(性的指向)～恋愛や性愛の対象となる性
性別表現(性表現)～自分自身の性の表現はどんなものかということ